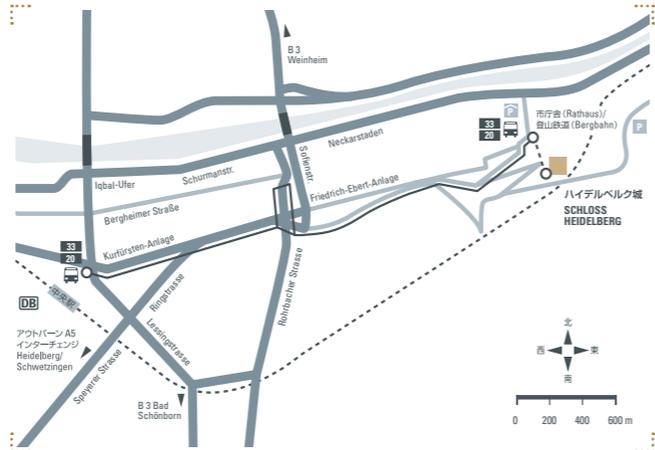




アクセス



公共交通機関御利用の場合:ハイデルベルク中央駅でバス33番または20番に乗車。停留所「ベアクバーン(Bergbahn)」で登山鉄道に乗り換え、ケーブル鉄道「シュロス(Schloss)」駅下車。

全管轄文化遺産に関する情報

バーデン=ヴュルテンベルク州立宮殿および庭園
Schlossraum 22a · 76646 Bruchsal

ホットライン +49(0)72 51.74 - 27 70
毎日8:00 ~ 20:00
(予約サービスはございません)
info@ssg.bwl.de



www.schloesser-und-gaerten.de/en



写真: SSG/LMZ, 表紙: 1. Günther Boveri, 2, 3, 6. Nick Schabert, 4, 7. John Menck, 5. Mike Niedrmer // デザイン: www.jungkommunikation.de

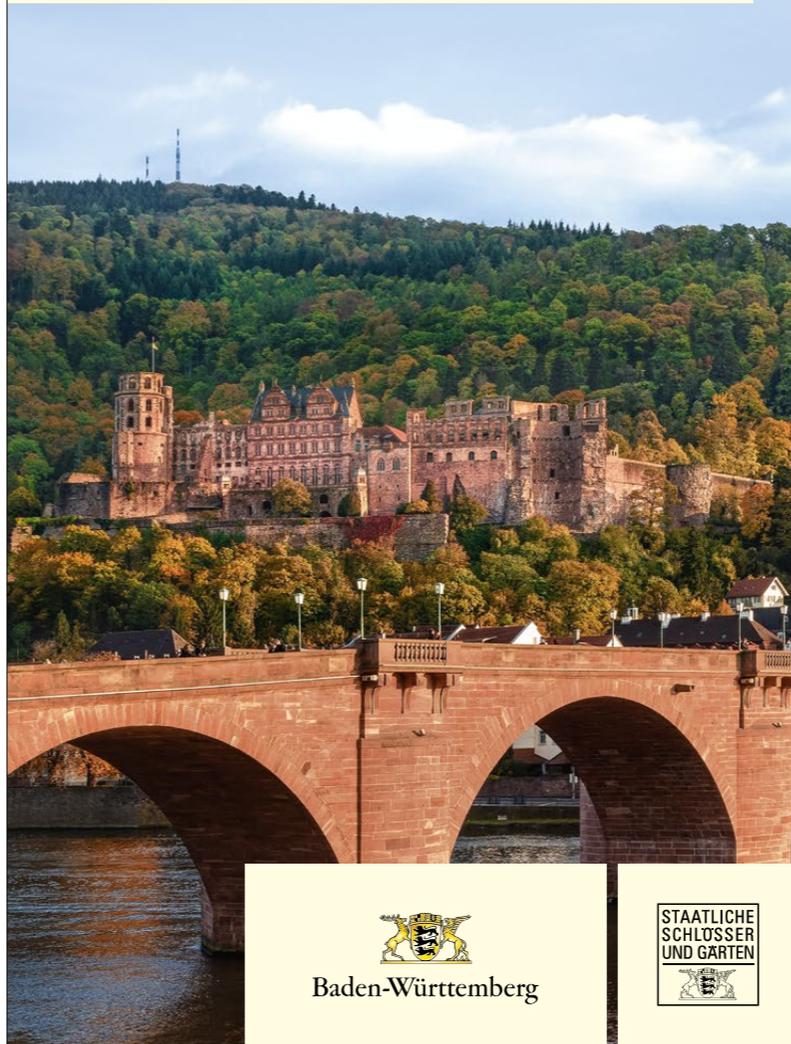
SSG_MONHEY_117_Heidelberg_J_01_23-24



ロマンチックそのもの—
世界で最も有名な城址



ハイデルベルク城



👑 季節がいつでもであろうと、城の中庭は訪問する価値があります。

ロマン派の憧れの地

絵画のように美しい風景に溶け込むハイデルベルク城は、四季を通して情緒豊かな趣を演出します。テラスから見下ろすネッカー川とハイデルベルクの街並みは絶景です。

ヨーロッパ史において重要な役割を果たしたかつての居城は、力強い姿に今もその威厳を留めています。19世紀のドイツロマン派において、居城が戦争や栄華の儂さの象徴となったのも不思議ではありません。城と要塞という2つの機能が融合しているのもこの城の特徴です。巨大な塔やアーチ型の屋根を持つ城壁内部の秘密の回廊が、要塞としての堅固な防衛能力を物語っています。また、典型的な宮殿建築のファサードが中庭を取り囲んでいます。宮殿建築は、比類のない彫像で飾られており、これらはルネサンスの宝です。



ハ イデルベルク城の印象的な遺跡には、毎年世界中から約100万人の観光客が訪れます。19世紀初頭以来、ロマン主義の代名詞ともなっています。



👑 19世紀には豪華な装飾が加えられた。漆喰の天井や木と砂岩からなる門が印象的なフリードリヒ館。

ルネサンスの壮大な建築

30年戦争まで、ハイデルベルク城には帝国内でも重要な宮廷が存在していました。選帝侯が積極的に建築に取り組んでからは、堅固さと時代を代表する様式を併せ持つアンサンブルが完成しました。ガラスの広間棟、オットハインリヒ館(Ottheinrichsbau)、フリードリヒ館(Friedrichsbau)、そしてイギリス館。これらはすべて、ルネサンス期に作られた、壮大な建築芸術です。見事なファサードを誇るこれらの建物に囲まれた中庭は、威厳ある、格調高い雰囲気に包まれています。

👑 フリードリヒ館から誇り高く見つめるプファルツ選帝侯の先人たち



ここより印象深い場所はどこにもないといついでしょう。ネッカー渓谷の砂岩からなるその姿は赤みを帯び、緑深いケーニヒシュトゥール(Königstuhl)の北壁を背にそびえ立ちます。このシルエットこそ、ハイデルベルク旧市街のイメージを際立たせています。

輝かしく変化に飛んだハイデルベルク城の歴史は、後にプファルツ選帝侯となるライン宮中伯がここに居を構えた時に始まります。歴史上、初めてこの城が言及されたのは、1225年です。それからまもなく、ルネサンス期の最も代表的な居城の一つとして、増設されることになります。

👑 ドイツルネサンス期の珠玉：オットハインリヒ館



👑 多くの彫像が宮殿を飾る。写真はプファルツ選帝侯フリードリヒ5世の立像。

戦争と自然災害による破壊

この城は、17世紀末にプファルツ継承戦争でフランス軍に何度も攻撃を受け、破壊されることになります。「ハイデルベルク城のライトアップ」は、現在、当時の破壊の様子を年に何度も盛大な花火で演出しています。長い間、最低限の修復しか行えないままだった城は、1764年に自然災害によって激しい損傷を受けました。稲妻が2度立て続けに城を直撃したのです。かつての壮麗な宮殿はほとんど完全に燃え尽きてしまい、——そして、廃墟となったのでした。

城と庭園—神話とロマンチズム

城の廃墟は、19世紀にロマン主義の情緒の象徴となり、さらに歴史主義における民族のモニュメントとなりました。街を見下ろす見事な建築芸術とその庭園に広がる神話、それがホルトゥス・パラティヌス(Hortus Palatinus、プファルツの庭園)です。選帝侯の最後の建築計画でしたが、完成することはありませんでした。人工的に造られた高台と造園の片鱗は、17世紀において「世界八番目の不思議」とも称された野心的なプロジェクトの名残を今日でも留めています。ハイデルベルク城は今も変わらずに人々を魅力し続けています。

観光案内

| 開館時間 | 4月1日～10月31日 | 11月1日～3月31日 |
|----------|--|-----------------|
| 城 | 月～日 9:00～18:00 内部の見学はガイドツアーの場合のみ可能。最終入場は各閉館時間の30分前。 12月24日と12月31日は午後閉館、12月25日は終日閉館。 | 月～日 9:00～18:00 |
| ドイツ薬事博物館 | 月～日 10:00～18:00 最終入場は各閉館時間の20分前。 12月24日と12月31日は午後閉館、12月25日は終日閉館。1月7日の開館時間は12:00～17:30。 | 月～日 10:00～17:30 |
| 城の庭園 | 終日自由に入出入り可能。 | 終日自由に入出入り可能。 |

| ガイドツアー | 4月1日～10月31日 | 11月1日～3月31日 |
|---|---|---|
| 城 (ドイツ語のガイドツアー) | 月～金、11:00～16:00の1時間毎に実施; 土・日、10:00～16:00の1時間毎に実施 | 月～金、11:00、12:00、14:00、16:00; 土・日、11:00～16:00の1時間毎に実施 |
| 城 (英語のガイドツアー) | 月～金、11:15～16:15の1時間毎に実施; 土・日、10:15～16:15の1時間毎に実施 | 月～金、11:15、12:15、14:15、16:15; 土・日、11:15～16:15の1時間毎に実施 |
| 団体ガイドツアーは参加者との取り決めに従って実施。特別ガイドツアーはウェブ上のプログラムおよび参加者との取り決めに従って実施。 | | |

| 入場料 | 4月1日～10月31日 | 11月1日～3月31日 |
|--------------------------------------|----------------|----------------|
| 城 (ケーブルカーの利用、城の中庭、大樽、ドイツ薬事博物館を含む) | | |
| 大人 | 9.00 € | 9.00 € |
| 割引 | 4.50 € | 4.50 € |
| ガイドツアー(城の入場券に追加) | | |
| 大人 | 6.00 € | 6.00 € |
| 割引 | 3.00 € | 3.00 € |
| 家族 | 15.00 € | 15.00 € |
| 多言語オーディオガイド | 6.00 € | 6.00 € |
| 団体(20人以上) | 5.40 € (1人あたり) | 5.40 € (1人あたり) |

バリアフリー、入場割引、特別ガイドツアーおよび訪問に関するその他の重要なお知らせはウェブサイトに掲載しています。

お問い合わせ先

ハイデルベルク城
Schlosshof 1
69117 Heidelberg

ガイドツアーに関するご案内とお申し込みサービスセンター
電話 +49(0)62 21.6 58 88 -0
FAX +49(0)62 21.6 58 88 -18
service@schloss-heidelberg.com

ハイデルベルク観光案内所
電話 +49(0)62 21.53 84 72
info@schloss-heidelberg.de
www.schloss-heidelberg.de/en

作成年→月: 2022年09月、内容は予告なく変更される可能性があります。